

第76回品質保証検討会 議事録

1. 開催日時：2026年6月4日（木）13時30分～14時50分

2. 開催場所：一般社団法人 日本電気協会 4階 B会議室（Web併用会議）

3. 出席者：（敬称略，順不同）

出席委員：竹田主査(関西電力)，小園副主査(東京電力HD)，小谷(三菱重工業)，
砂田(IHI)，笠(日立GEヘルパニュークリアエナジー)，中村(東芝)，吉川(富士電機)，
清水野(北海道電力)，土居(四国電力)，門田(中国電力)，道下(北陸電力)，
宮下(中部電力)，梶谷(日本原子力発電)，小林(電源開発)，加茂(九州電力)，
亀岡(日本原燃)，柿木(原子燃料工業)，田上(原子力安全推進協会)，
鈴木_哲(元中部電力) (計 19名)

代理出席者：鈴木_徳(東北電力 佐藤委員代理)，安宗(日本原子力研究開発機構 高橋
委員代理) (計 2名)

(小計21名)

常時参加者：植田(東芝)，首藤(元電源開発)，中野(東芝)，早瀬(電力中央研究所)，
上田(三菱重工業)，坂本，田島(原燃輸送)，
杉村(日立GEヘルパニュークリアエナジー) (計 8名)

欠席委員：西田(東京電力HD)，殿村(三菱電機)，服部(三菱原子燃料)，
高橋(日本原子力研究開発機構)，岩本(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)，
佐藤(東北電力)，中條(リサイクル燃料貯蔵)

(計 7名)

オブザーバ：なし (計 0名)

説明者：なし (計 0名)

事務局：浅見，上野(日本電気協会) (計 2名)

(出席者合計 31名)

4. 配付資料：別紙参照

5. 議事

事務局より，本会にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認後，竹田主査の開催挨拶があり，その後議事が進められた。

(1) 名簿の確認，委員の変更，常時参加者の追加，代理出席者，常時参加者，委員定足数，配付資料の確認

事務局より，資料No.76(1)1に基づき，下記委員の変更は，前回紹介済みであるが前回の検

討会以降、分科会の開催が無いため、新委員候補については、分科会規約第13条(検討会)第4項に基づき次回品質保証分科会で承認予定であるとの紹介があった。

退任・退任予定委員及び次回分科会で承認予定の新委員候補

- ・ 退任 佐藤委員(東北電力)
- ・ 新委員候補 鈴木^徳 氏 (同左)
- ・ 退任 高橋委員(日本原子力研究開発機構)
- ・ 新委員候補 安宗 氏 (同左)

新委員候補の2名は前任者の代理出席であることが報告され、分科会規約第13条 (検討会) 第7項に基づき、主査が承認した。

現時点での委員の出席者数は代理出席者も含めて21名であり、分科会規約第13条 (検討会) 第15項での議案決議に必要な出席数 (委員の3分の2以上) を満たしていることが確認された。

常時参加者の変更は無いことが報告された。

説明者は今回無しであることが報告された。

前回、欠席されていた新委員候補 安宗様(日本原子力研究開発機構)から挨拶があった。

また、資料No.76(1)2の品質保証検討会体制表の変更について事務局より説明があった。

- ・ 主査・副主査が決定したので修正した。安全文化サブチームに四国電力の土居委員と東北電力の鈴木^徳新委員候補を兼務として、ご本人の了解が取れたとのことで追加した。
- ・ 体制表の管理は検討会主査であるが、これまで事務局にて代行してきた。今後は主査に引き継ぐ予定。

主な意見・コメント

- ・ 元中部電力の鈴木^哲委員から、全体サブチームのサブリーダー退任の申し出があったが、竹田主査の慰留を受けいれ、サブリーダーを継続することになった。

(2) 前回議事録の確認(審議)

事務局より、資料No.76(2)1に基づき、前回議事録の紹介があり、正式議事録にすることについて、分科会規約第13条 (検討会) 第15項に基づき、挙手及びWebの挙手機能にて決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

主な意見・コメント

なし

(3) 第75回品質保証検討会以降の状況報告(報告)

事務局より、資料No.76(3) シリーズに基づき、第75回品質保証検討会以降の状況について報告があった。

第97回 原子力規格委員会 (以下、NUSCという。) 以降開催されていないため、議事録(案)のみ添付している。

主な意見・コメント

- ・ 第89回基本方針検討タスクの議事録（案）にAIの話があつて、JEAC4111もAIで一度確認してもよいと思う、との話があるが、これは何か。
 - AIの活用については日本機械学会が先行していて、前委員長の笠原先生の伝手で東京都市大学の太田先生にご協力いただいて校正用ツールを作成している。これは、誤字や記載ルールに照らすことで問題箇所を一覧表にすることができる。AIは同じプロンプトを実行させても同じ回答が得られないことから、AIではなくHTMLで作成したプログラムで行っており、文章の校正などには活用できることが分かっている。
- 一方、規格を読み込ませて、他の規格などとの整合などを確認するなど高度なことも可能と考えるが、実際にはまだまだとの認識である。JEAC4111と他の規格や品管規則との整合などもやってみると欠陥が見つかるのではないかと、という意見である。

(4) 2026年度JEAC4111実務コース講習会の実施承認について（審議）

小林普及・促進チームリーダーより、資料No.76(4)シリーズに基づき、2026年度JEAC4111実務コース講習会の実施について説明があった。

審議の結果、以下の意見を反映の上、資料No.76(4)1：2026年度_実務コース講習会の開催案内(案)を品質保証分科会に上程することについて、分科会規約第13条(検討会)第15項に基づき、挙手及びWebの挙手機能により決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

主な意見・コメント

- ・ 「JEAC 4111の理解を深め」がP1,P2に2か所あるが、理解と併せて「実務に生かしていただく」等の表現を追加すべきである。
- ・ ライブ配信時の閉会挨拶は分科会長にお願いしているが、前回のご挨拶の内容が非常に良いものであった。分科会長が交代されたので、新分科会長のご専門であるISO改定などの内容をお願いすることはできないか。
- 山田分科会長にお願いしてみる。

(5) 技術資料：書面投票のその他意見への回答について（報告）

竹田主査より、資料No.76(5)シリーズについて、前回審議承認されたその他の意見の回答及び編集上の修正（体裁・表現の適正化等）について分科会へ上程することが報告された。

又、技術資料の公開版は著作権の観点から品管規則との対照について、規格を購入していれば追跡することが可能である範囲のマスキングを行っており、分科会でも報告する予定である。

主な意見・コメント

- ・ なし

(6) その他

- ・ 次回の開催時期について
12月上旬の専門コース講習会の開催を考えると、開催案内等の準備スケジュールより品質保証分科会での承認を2か月前に取得する必要があるため、9月中に分科会を開催することになる。そのため、検討会は、8月下旬又は9月上旬には開催することになる。

以 上

第 76 回品質保証検討会配付資料

76(0)	第 76 回品質保証検討会 議事次第 r0
76(1)1	品質保証検討会名簿 (20260604)
76(1)2	品質保証検討会体制表(業種別)R_76 検討会用_事務局修正版
76(2)1	第 75 回品質保証検討会 議事録 (案)
76(3)1	第 75 回品質保証検討会以降の状況 (各会議体の議事録等)
76(3)参考 1	第 89 回基本方針策定タスク議事録 (案)
76(3)参考 2	第 82 回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録 (案)
76(3)参考 3	第 97 回原子力規格委員会議事録 (案)
76(4)1	2026 年度_実務コース講習会の開催案内(案)_20260604
76(4)2	JEAC4111 普及・促進チーム_2026 年度講習会作業スケジュール (案)_20260604
76(5)1	書面投票後のコメント処理表_20260602
76(5)2	技術資料 (前書き) 分科会コメント反映_20260501
76(5)3	技術資料_0-3 章_分科会コメント反映_20260501
76(5)4	技術資料_4-6 章_分科会コメント反映_20260501
76(5)5	技術資料_7 章_分科会コメント反映_20260501
76(5)6	技術資料_8 章_分科会コメント反映_20260602R1
76(5)参考 1	No.70-1_技術資料 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係 新規 制定_書面投票結果 FIX
76(5)参考 2	技術資料 (結合版) 公開処理版

以 上